

精神保健福祉制度論			担当教員	大島 康雄	
精神保健福祉士は対人援助技術を使って、クライアントと信頼関係を構築します。援助関係からニーズを抽出して、本人のストレングスやエンパワメントを活用して、ニーズを充足するための社会資源を調整していく専門職になります。その社会資源を学ぶのがこの科目となります。障害者総合支援法や介護保険法、生活保護など生活課題毎に整理しながら学習ができるように展開していきます。					
授業の目的・ねらい	①精神障害者に関する法制度の体系について理解する。 ②精神保健福祉法、医療観察法等の医療に関する制度の概要と課題、制度に規定されている精神保健福祉士の役割について理解する。 ③生活支援に関する制度の概要と課題、制度に規定されている精神保健福祉士の役割について理解する。 ④生活保護制度や生活困窮者自立支援制度等の経済的支援に関する制度の概要と課題、制度に規定されている精神保健福祉士の役割について理解する。 ⑤障害者に関する法制度を適切に活用でき、法制度の限界と課題について考えることができる。		授業全体の内容及概要	①精神障害者に関する制度・施策の理解 ②精神障害者の医療に関する制度 ③精神障害者の生活支援に関する制度 ④精神障害者の経済的支援に関する制度	
具体的授業内容	①精神障害者に関する法律の体系 ②精神保健福祉法の概要と精神保健福祉士の役割(入院形態、入院の方法(移送制度等)、人権擁護(退院請求、精神医療審査会、指定医制度)、精神保健福祉法における精神保健福祉士の役割(退院後生活環境相談員等)) ③医療観察法の概要と精神保健福祉士の役割(審判・処遇の流れ、処遇の内容、精神保健参与員の役割、社会復帰調整官の役割、医療観察法における精神保健福祉士の役割) ④精神障害者の医療に関する課題(非自発的入院、意思決定支援、家族等の同意、アウトリーチ、精神科救急、地域移行、地域定着、医療観察法の課題) ⑤相談支援制度と精神保健福祉士の役割(相談支援制度の概要、相談支援制度における精神保健福祉士の役割) ⑥居住支援制度と精神保健福祉士の役割(居住支援制度の概要、居住支援における精神保健福祉士の役割) ⑦就労支援制度と精神保健福祉士の役割(就労支援制度の概要、就労支援における精神保健福祉士の役割) ⑧精神障害者の生活支援制度に関する課題(相談支援制度における課題、居住支援における課題、就労支援における課題) ⑨生活保護制度と精神保健福祉士の役割(生活保護の概要、生活保護制度における精神保健福祉士の役割) ⑩生活困窮者自立支援制度と精神保健福祉士の役割(生活困窮者自立支援制度の概要、生活困窮者自立支援制度における精神保健福祉士の役割) ⑪低所得者対策と精神保健福祉士の役割(生活福祉資金貸付制度、無料定額診療所、無料定額宿泊所、求職者支援制度、法律扶助、災害救助等、低所得者対策における精神保健福祉士の役割) ⑫精神障害者の経済的支援制度に関する課題(精神障害者の生活実態から見える経済的支援の課題、無年金問題、生活保護被保護者の地域移行の課題)				
テキスト	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
	最新 精神保健福祉士養成講座4 精神保健福祉制度論 第2版	日本ソーシャルワーク教育学校連盟【編】	中央法規	2025 年	9784824301581
レポート課題	次の課題について 1,000 字～1,200 字の範囲で述べなさい。				
	医療観察法、障害者差別解消法、生活支援に関することを整理し、相談支援の役割を述べなさい。				
	レポート作成上の注意点	特になし			
	レポート作成のための参考文献	特になし			
評価方法	レポート、試験及びスクーリング授業への取り組み姿勢をもとに総合的に評価				
	レポート課題	スクーリング		試験	
	1本	3時間		有	